



【特集】②

来春開設！公共政策学科 時代が求める 地域に開かれた大学を目指して！！

- ⑥ 教育最前線「ボランティア・ラーニングセンター開設」等
- ⑦ 輝け！アスリートたち
- ⑧ キャリア支援課だより
- ⑨ 交流の輪を広げて
- ⑩ 実習報告
- ⑪ 研究室だより
- ⑫ キャンパス彩々
- ⑭ 会計報告
- ⑯ 父母懇談会／理事会人事／
校友会創設40周年記念式典・トークショー

地域に開かれた大学を目指して!!

岐阜経済大学 公共政策学科開設 プレイベント シンポジウム

「新しい公共」とは何か ~つながりで創るこれからの社会~

岐阜経済大学(大垣市北方町)は、来春、経済学部公共政策学科を新設する。地域に根付いた大学として、その学科の理念や目的をアピールするための公開プレイベントが、先頃、同大学で開催された。当日は、早稲田大学大学院公共経営研究科の北川正恭教授による基調講演と、淵上俊則岐阜県副知事、小川敏大垣市長、神野直彦東京大学名誉教授らによるパネルディスカッションが行われ、多くの来場者が熱心に耳を傾けた。



学長挨拶

新しい地域づくりを 目指して



学長
谷江 幸雄

地域社会は、グローバル化や少子・高齢化のもとで大きな変化にさらされています。昨年、「無縁社会」という言葉が流行したように、都市でも農村でも地域コミュニティが崩壊し、人と人のつながりが希薄になっていきます。今ほど、市民一人ひとりが「公共の志」を持ち、行政とともに新しい公共社会を創造することが求められている時代はありません。その新しい公共社会のイメージは、多様な価値観をもつ人々の相互尊重と発達保障、人間と自然との共生、助け合い、協働、連帯の精神によって形成される社会と捉えられます。来春開設する公共政策学科は、こうした新しい公共、つまり「共生」と「協働」に基づく新しい地域づくりの課題と方法を学び、公務員や社会福祉士など広く公共部門で活躍する人材を育成する学科です。本学は、1967年に、大垣市を中心とする地元の自治体、産業界、教育界の要望と支援を受けて創設されました。その意味で、新しい地域社会の担い手を育成する公共政策学科の開設は、地元の方々に恩返しができる絶好の機会になるものと考えています。

新しい公共とは

勝田 公共性のとらえ方は多様だと思いますが、「新しい公共」とはどういうもので、今、なぜそれが求められているのでしょうか。行政のご経験を踏まえた実践的なお話や、ご意見をお聞かせ下さい。

淵上 さまざまな地域社会に対し、地域連帯という考え方のもと、行政とは違う形で公共的な仕事をしたいと思っています。東日本大震災は、絆や連帯など、忘れかけていた大切なものを思い出させてくれました。社会には、自分のことは自分でやる「自助」、地域が連帯して助け合う「共助」、行政が行なう「公助」がありますが、明治以降、中央集権国家としてひた走ってきた日本では、共助は小さく、公助は大きくなり続けています。地域連帯が薄れ、さまざまなことが行政サービス頼りになっただけですが、あらゆる課題に行政だけで対処することは難しく、今一度共助を大きくしていくことがニーズに合っていると考えます。税金を資金とする公助は公平でなければならず、サービスが非効率的になりがちですが、特定の課題を解決できる団体であるNPOなら自由かつ効率的に活動できます。行政には、そのための間接的サポートや、地域の自主性を重んじ、地域が連帯して柔軟に物事に対処していけるような仕組みづくりが求められると思います。大切なのは、自助・共助・公助のバランスがとれたベストミックスの実現。例えば、映画制作によるまちづくりに取り組み「えな、心の合併Project」や、岐阜市の「長良川環境レンジャー」などの団体は、結果として新しい公共の役割を果たしており、何らかの制度を作って、こうした活動を実情に応じて補完できればよいと思います。この公共政策学科によって、地域のための発想をもつ人が多くなることを願っています。

小川 市民と行政が連携した協働のまちづくりこそ地域からの日本再生につながるものであ

り、新しい公共だと思いません。国から県、県から市町村への権限や財源の委譲が進むなか、地方の時代が到来。その担い手として、地域コミュニティ復活の核として、市民参画は不可欠で、皆様に参画意識をもって取り組んでいただけるよう、市は情報公開を進めていきます。市民の皆様にも公共サービスを担っていただく新しい公共のあり方は、これからの社会に大きな役割を果たすでしょう。大垣市は「かがやきライフタウン構想」を掲げ、多彩な分野で皆さんに活躍していただける市民協働のまちづくりを推進。「まちづくり推進センター」「水門川クリーン作戦」「防犯のまちづくり」を指す「さわやか見守りあいボランティア」など、すでに数多くの取り組みが成果を上げています。協働のあり方は、市民にお任せするもの、行政がサポートするもの、対等の立場で協力するものなど多様ですので、しっかりと連携しながら柔軟なやり方で進めたいと思います。協働を通じて連帯感が高まり、地域のつながりが生まれていくことが願いです。皆さんが積極的に参加できる場づくりに務めるとともに、それを担える人材育成にも力を注いでいきます。公共政策学科から巣立つ若者に期待しています。

神野

すべての人間が、そのかけがえのない価値を出し合って共同で未来を決定していくことが民主主義であり、公共は誰も排除されないことを意味します。ただし、日本では公用車が官僚の車だったりするわけですから、「公」という概念の理解には注意が必要です。地方税の配分についても然りで、国と地方がきちんと議論しなければなりません。さて、東日本大震災という大変な危機に襲われ、日本国民は3つのことを認識したと思います。①大切なものは命であり、生命を価値体系の最高位とする社会を形成しなければなりません。②人と人、人と自然とが共に生きる大切さ。③共同の困難に対して、自ら解決のために行動しなければならぬ。人と自然との共生は、顔が違ふ地域への関心を呼び起こします。また、共生意識とは、社会の構成員の誰もが互いに不幸になら

北川

ないことを願う、幸福になってほしいと願い合っているという確信であって、ゆえに十分な議論ができるわけですから、その培養が重要です。生活者は公共サービスの消費者ではなく、積極的に参加していく人間でなければなりません。経済学者のガルブレイスは、人々が「誰か良いリーダーは」と求めるアメリカを「指導者の政治」、自分たちで考え解決しようとするスイスを「人民の政治」と比喩し、前者が、観客向けのスポーツのように勝敗に関心が向きがちになる危険性を指摘しました。今の日本に求められる民主主義の活性化とは、人民の政治を取り返すことであり、共生と協働に基づいた地域づくりによって、命を最高位に置く社会を実現することでしょう。

今、時代は激動期。昨日のしがらみを断ち切って明日を創っていくかなければならない転換点にあると思います。これまでは、産業革命以降の枠組みに沿って物事の是非を判断してきたわけですが、そういうものがすべて取り払われ、中央集権体制も終わって、必然的に、一人ひとりが何をどうガバナンスするかという本場の地方分権時代が到来しつつあります。福沢諭吉は1本の太い根よりも、細かく根を張り巡らせた地方分権の強さを説きました。この国を変え、救うのは、地域社会だと私は確信しており、ここ大垣から、そんな力がわき上がってくることを願っています。3月11日は、ちょうど仙台のホテルにいたため、2泊3日、被災地での生活を体験しました。そして、現場の方々の姿や、その対応に接し、「国民として、本当にすばらしいと感じたのです。秩序正しく、互いに助け合って黙々とやるべきことをきちんとやる姿に感心し、一人ひとりの力のすごさを実感しました。そういう人たちが、官と民、あるいは大きな企業と個人として力を合わせたからこそ、「日本人はすごい」と世界が認めたのだと思います。日本人が持っている素晴らしい力を、非常時だけでなく、日常の中でコンスタントに養い、生かしていくことは、成熟した社会の実現につながるはず。



〈コーディネーター〉
勝田 美穂
岐阜経済大学教授



〈コーディネーター〉
森 誠一
岐阜経済大学教授



〈パネリスト〉
北川 正恭氏
早稲田大学大学院
公共経営研究科教授



〈パネリスト〉
神野 直彦氏
東京大学名誉教授



〈パネリスト〉
小川 敏氏
大垣市長



〈パネリスト〉
溯上 俊則氏
岐阜県副知事

**地方分権が
日本を変える**

**命を最高位に
おく社会**

**市民協働の
まちづくり**

**自助・共助・
公助を生かす**

時代が求める地域に開かれた大学を目指して!!

地方大学の役割

森 公共は、まちづくりそのものとも言えます。まちは、生活、福祉、産業などの地域特性を反映して形成され、生活する人々の合意形成や財政などの根拠を含めてシナリオが構築されます。構築手順は、いわば公共政策であり、各分野の専門家や、それを学ぶ学生を抱える大学には、地域の一人として公共政策の根拠となるような知識やデータを示す役割があるのではないかと思いません。地方大学は地域と密着しながら、さまざまな活動を行なっているわけですが、その意義や役割について、ご意見をお聞かせ下さい。

淵上 考える力とコミュニケーション力を持ち、地域で活躍できる人材を育てて下さい。

小川 地方の時代は、企画、提案力のある人材育成が必要です。しかも市民連携が出来る人に行政分野で活躍してほしい。

北川 これからは市役所の職員が公共政策学科で学ぶという発想も大切です。地域社会と大学が相互乗り入れすれば、日本を変えるモデルになると思います。

神野 お話を聞き、私は、社会が行き詰まっている今日、自治体も個人も「自分の使命は何か」という問いに回答することが大切ではないかと感じました。プータンという国は、量的な成長を追わず、国民の幸福実現を政治の使命としています。自然環境や精神的文化や遺産を破壊したり、家族や友人との絆を犠牲にしたりするような経済成長は国民に幸福をもたらさないと断じた国王は「指導者に頼る国は弱い。国づくりは国民一人ひとりの仕事」と民主制への転換について国民を説得。地域ごとのグラスミーツィングを重ねて政策が決められました。97%の人が「幸福」と答えるプータンに比べ、日本はどうでしょうか。「幸福度」を議論する政治経済では、「経済成長の素晴らしさと空しさを実感したければ日本に行け」といわれています。私たちも、物質的な所有欲求を満たすばかりでなく、家族や友人や自然と共にあ

る幸福、命を使って何ができるのかという存在欲求について考えていくべきではないでしょうか。模索が続く中、「共生」と「協働」という概念に基づく公共政策学科において、その緻密な追求がなされることを期待します。

森 ありがとうございます。新学科に魂を入れるべく教職員一同で、地域の皆様のご支援をいただきつつ、邁進したいと思っています。

勝田 大学が地域に求められていることを実感し、皆様のお話に身の引き締まる思いです。ありがとうございます。

基調講演



早稲田大学大学院
公共経営研究科教授
北川 正恭

日本の再生は地域から — 新しい公共と自治体の役割 —

地方分権時代を迎えて、地域の自立が求められています。それを推進するのは人であり、中央集権での指示、通達待ち型人材育成から問題発見、解決型人材育成への転換が急務です。かつて明治維新という社会の大改革が、志を持った若者たちによって成し遂げられたことを思うと、地域における大学のミッションは大きく、中央集権から地方分権への転換が進む今、公共政策学科の新設は非常にタイムリーであり、敬意を表します。同科の発展を願い、これから育つ人たちが新しい時代をつくってくれることを期待します。

2011年9月10日 中日新聞(岐阜版)から転載

公共政策学科開設イベント

『はりんこざわめく自然』映画上映会

日時 2011年10月8日(土) **場所** 岐阜経済大学

内容 13時30分～ 森誠一教授(企画・監修)と押切隆世(監督・脚本)との対談
「映画制作の経緯や自然環境の保護などについて」

14時00分～ 「はりんこざわめく自然」上映会

入場
無料



がんばろう日本!!

～東日本大震災に寄せて～

山田武司准教授 / 学生による宮城県多賀城市での災害ボランティア活動

山田(武)ゼミでは、5月3日(火)に災害ボランティア活動として、ゼミの有志学生3人とゼミ卒業生1人が宮城県の多賀城市災害ボランティアセンターに入り、被災した住宅地の側溝の土砂出し作業を行いました。

その後、この災害ボランティア活動がゼミの中で報告され、災害ボランティアに関する学習を行っていく中で、ゼミ全体として災害ボランティアに取り組むことになりました。この取り組みでは、「災害復興の力になりたい」と災害ボランティアセンターに入って災害支援活動を行うグループと、「避難している方を少しでも勇気づけたい」と避難所で音楽の企画を行うグループとに分かれました。そして、6月12日(日)に6人の学生が多賀城市災害ボランティアセンターで受付、全国から来たボランティアの方々と一緒に、まだ津波の爪痕が深く残る中で土砂出し作業を行いました。また同日、3人の学生が避難所になっている多賀城市文化センターにて、ギター演奏とともに避難者の方やスタッフの方と歌声を響かせました。



ボランティアに参加した学生の感想

被災者の方から「今度は助けにいくよ」という言葉や「私たちも頑張るから、あなたたちも頑張って!」との励ましを受けたり、ほのぼのとした子どもたちの話し声、全国のボランティアとの語り、スタッフの温かさなど多くの「思い」をいただきました。

岸 順治准教授 / 宮城県への緊急派遣 スクールカウンセラーとしての活動

私は、緊急派遣スクールカウンセラーとして、5月23日(月)からの6日間宮城県での活動を行ってきました。都道府県単位ごとに1人1週間交代でチームを組み岐阜県チームは、5月3日(火)から7月23日(土)までの11週間にわたり宮城県東松島市内の中学校で支援を行いました。この中学校の校舎は海沿いにあり、津波が校舎の2階まで浸水して使用できないため、内陸にある別の中学校に間借りをして新学期を始めていました。1学年40名程の小規模校ですが、1つの校舎に2つの中学校が同居するという窮屈な学校生活を送っていました。

私が行ったのは、5月後半の第3週目と新学期が始まって1ヶ月が経過した頃で、教員は学校生活の流れを作るのに精一杯でかなり疲弊されているように感じました。スクールカウンセラーとしての活動は、1週間後には別のカウンセラーと交代しているという特殊な状況でしたので、継続的な関わりを想定しない単発的なものにとどめ、生徒へのカウンセリングは行いませんでした。主に、教員に対する生徒対応についての指導・助言といったコンサルテーションが中心となり、また給食や昼休み、部活動での生徒との交流を行うことができました。生徒には、PTSD(心的外傷後ストレス障害)といった震災の影響はそれほど認められませんでした。問題が顕在化するのはいずれかと予想され、さらに長期的な取り組みが必要であると感じました。



念願のボランティア・ラーニングセンターが6月15日(水)、8号館1階8103教室に開設しました。センターは、ボランティアが持つ3つの力を基礎に、正課授業と課外活動が有機的な循環を持ち、学生が「公共を創造する力を醸成する拠点」です。

ボランティア・ラーニングセンター開設
6月15日(水)、8号館1階8103教室にボランティア・ラーニングセンターを開設しました。このセンターは学生が主体となり運営する、ボランティア活動の窓口です。

学生の持つ力を発揮し、互いが学び育ち合い、地域にさまざまな情報を発信し、公共を創造する拠点

ボランティア・ラーニングセンター委員 樋下田邦子

連携活動に積極的に取り組んでいます。メンバーは、ボランティア活動やフィールドワーク経験者で構成され、学生ボランティア・コーディネーターとして、来所する学生の相談や、地域・様々な団体からのボランティア要請に対して広報・コーディネートをしています。

センターでの活動内容は、学生同士が話し合い、活動は業務日誌に記録して情報や課題の共有に努めています。

今後は、ボランティア・ラーニングセンターに学生や地域住民が、気軽に顔を出してもらおうための広報活動として、学内と地域向けの便り発行、他のゼミへの出前紹介、サークル文化会との話し合いなどを行い、地域連携活動として、防災に関する共同学習会、避難所体験や炊き出し、地域行事への参加などを考えています。そして学び合う機能を強化するために、活動成果を年内に報告する機会を持つ予定です。

学生の力と自立を信じて、学生が大学の顔となって地域と力強く結び付けていく「公共を作り出す拠点」を目指してしっかりと歩いていきたいと考えています。

センターの3つの機能

- 1 教育支援活動**
ボランティア・ラーニング手法を取り入れた科目の支援と相談。学生ボランティア・コーディネーター養成や教育や単位認定に関わる支援
- 2 学生支援活動**
学生ボランティア活動における総合相談窓口やサークル、同好会などのボランティア活動に関する相談や支援
- 3 地域連携機能**
地域、社会福祉協議会、NPO、企業との連携や共同

ボランティアが持つ3つの力



経済学科企業人育成コースの学生が、協力企業の工場や施設見学を行いました。

経済学科企業人育成コースの2、3年生が、地域企業研究Ⅲ(池永輝之経済学部教授担当)の授業で、協力企業の工場や施設見学を行いました。この授業は、地域に存立する有力企業(運輸・建設、印刷、特殊原材料部品製造)に焦点を合わせたものについて、その歴史、経営哲学・経営方針・経営戦略、さらには業界展望など、当該企業から、講師を招き、講義していただくもの。受講生にはこの講義を通して生き生きとした現実の企業活動の一端に触れらうことを目的としています。

前期は、セイノーホールディングス株式会社、西濃記念館、揖斐川工業株式会社の植物工場、サンメッセ株式会社印刷工場、矢橋工業株式会社の乙女坂工場を見学しました。後期も授業での施設見学を行う予定です。



2011年度「地域企業研究Ⅳ」授業日程・担当者(授業時間 16:20~17:50)

月日	会社名	授業担当者(敬称略)	講義テーマ
1 9/22(木)		経済学部教授 池永 輝之	オリエンテーション
2 9/29(木)			
3 10/6(木)			企業理念・歴史(100年の歩み)
4 10/13(木)	イビデン株式会社	経営企画本部 理事 浅井 元雄	事業内容・グローバル戦略
5 10/20(木)			企業の意思決定・組織・求める人材・地域との関わり
6 10/27(木)		経済学部教授 池永 輝之	
7 11/10(木)	河合石灰工業株式会社	総務部部長 加藤 領一 取締役 河合 力記夫 代表取締役社長 河合 進一	我社の人材育成・求める社会人像 我社の事業展開
8 11/17(木)			我社の歩み・理念・ビジョン
9 11/24(木)			会社概要(歴史・理念・事業内容等)
10 12/ 1(木)	東海サーモ株式会社	代表取締役社長 浅野 圭一	企業戦略と工場紹介(見学)
12 12/15(木)			求められる企業人像(これから入社して来る人達に期待すること)
13 12/22(木)	岐建株式会社(予定)	未定	未定
14 1/ 5(木)	未定	未定	未定
15 1/12(木)	岐建株式会社(予定)	未定	未定

2011年度「地域企業研究Ⅲ」授業日程・担当者(授業時間 16:20~17:50)

月日	会社名	授業担当者(敬称略)	講義テーマ	備考
1 4/14(木)	セイノーホールディングス株式会社	総務部部長 小栗 伸彦 (西濃記念館説明 七戸 直栄)	西濃運輸の歴史・企業理念について	第1回目は西濃運輸本社で講義実施
2 4/21(木)		経営企画室課長 高橋 千秋	物流業界の将来像について	
3 4/28(木)		人事部課長 渡邊 久人	「求める人材像」について	
4 5/12(木)		経済学部教授 池永 輝之	まとめ①	
5 5/19(木)	揖斐川工業株式会社	代表取締役社長 井上 豊秋	会社概要(歴史・理念・事業内容等)	第3回目は工場見学
6 5/26(木)		常務 子安 正博	我社の人材育成	
7 6/ 2(木)		管理本部長兼総務部長 衣斐 輝臣	工場見学	
8 6/ 9(木)		管理開発部長 日比 章雄	会社概要(事業内容・理念・歴史)	
9 6/16(木)	サンメッセ株式会社	管理部長兼総務部長 衣斐 輝臣	今後の取組(カーボンオフセット&ICタグ等)	第3回目は工場見学
10 6/23(木)		経済学部教授 池永 輝之	工場見学&求められる人材	
11 6/30(木)			まとめ②	
12 7/ 7(木)	矢橋工業株式会社	管理部部长 山中 均	矢橋工業の概要	第2回目は工場見学
13 7/14(木)		取締役社長 矢橋 慎哉	工場見学	
14 7/21(木)		経済学部教授 池永 輝之	経営と求められる人物像	
15 7/28(木)			まとめ③	



硬式野球部

BASE BALL

春季大会を終えて

5勝8敗(勝点2.5位)不本意な結果でありました。キャンプオープン戦を終えそれなりの手ごたえを感じて開幕をむかえたはずでしたが、優勝争いに絡むことなく屈辱のシーズンで終わりました。

我々に慢心があったのか、開幕直前のチームに蔓延したインフルエンザ。体調管理の難しさを再認識したシーズンでもありましたが、歯車が噛み合わないまま終わってしまった感のする春季リーグ戦でした。

ベストナイン賞等4名の個人表彰者を輩出できたことがひとつのよいところではありました。

本稿が発行される時期には秋季リーグ戦がスタートしていることと思いますが、悔いのない戦いを展開してゆきたいと強く念じております。御声援、よろしくお願いたします。

硬式野球部総監督 塚田 勝



ボート部

BOAT



▲左から松尾さん、信里さん

ボート部員が山口国体代表に選出されました

本学ボート部松尾歩さん(スポーツ経営学科2年 田名部高校出身)、信里英梨香さん(スポーツ経営学科2年 坂出高校出身)が、国体のボート競技の青森県(松尾さん)、香川県(信里さん)代表として、選出されました。

松尾さんは、成年男子ダブルスカクルで出場します。成年の部では、初出場となります。信里さんは昨年に引き続き、7月17日(日)、四国ブロック大会において、強豪愛媛県をおさえて出場を決めました。成年女子舵手なしクオドルフルで出場します。第66回国民体育大会ボート競技は、10月2日(日)〜10月5日(水)、山口県下関市豊田湖畔ボートコースで開催されます。



個人受賞者のコメント



▲左から田原さん、辻さん、松本さん、吉田さん

ベストナイン捕手

田原 靖彰さん
スポーツ経営学科3年(大垣日本大学高校出身)
リーグ戦スタート、チームがうまくスタートに乗り残念な結果で終わってしまいました。個人よりチームのことを常に考えながらプレーしていきます。秋季リーグ戦は必ず優勝争いに絡んで頑張ります。

ベストナイン一塁手

辻 尚宏さん
スポーツ経営学科3年(岐阜城北高校出身)
個人的にもリーグ戦スタート時は、調子があがらずチームに迷惑をかけてしまいました。我々は優勝するのだという強い気持ちで前面にだして全員で力をあわせ優勝を勝ちとりたい。

ベストナイン外野手

松本 拓真さん
スポーツ経営学科2年(明豊高校出身)
昨年は今一歩でベストナイン賞を逃して悔しい思いをしましたが、このリーグ戦で獲得できました。しかしチームの成績が悪くあまり喜びが感じられません。秋季リーグ戦こそは、チームも個人も喜びを爆発できるように頑張ります。

ベストナイン盗塁王

吉田 勤太さん
スポーツ経営学科3年(静岡高校出身)
足にスランプなし。走力は自信をもっています。足を活かすには出塁しなければなりません。打力の向上は当然ですが、選球眼をより一層磨きチームの勝利に貢献したい。秋季リーグ戦での優勝をめざし日頃の練習にも全力投球!!



ソフトテニス部

SOFT TENNIS



部長 郷和夫さん

スポーツ経営学科3年(岐阜農林高校出身)
私たち、ソフトテニス部は、東海リーグ4部昇格のため日々練習に励んでいます。今春は惜しくも得失点差で昇格戦にいくことができませんでしたが、今秋では4部に昇格できるよりにがんばります。

平成23年度春季 岐阜県学生ソフトテニス選手権大会(5月8日 岐阜大学)

- 3位 森田・山崎ペア
- 森田 匠 スポーツ経営学科2年(高岡商業高校出身)
 - 山崎 誠 経済学科2年(水見高校出身)
- 甲斐・佐藤ペア
- 甲斐 弘嗣 スポーツ経営学科3年(岐阜第一高校出身)
 - 佐藤 貴紀 スポーツ経営学科3年(赤穂高校出身)

前期の主なクラブ活動実績

体育会

- ボート部
- 中日本レガッタ 男子舵手付きフォア 3位
 - 信毎諏訪湖レガッタ
 - 男子舵手付きフォア準優勝、男子ダブルスカクル優勝
 - 男子シングルスカクル 3位、女子ダブルスカクル 優勝
- 硬式野球部
- 東海地区大学野球春季リーグ戦 13戦5勝8敗5位
- 陸上競技部
- 日本学生個人選手権 男子800m 4位
 - 西日本インカレ 男子100m 6位
 - 男子1600mリレー6位、女子走幅跳6位
 - 東海インカレ 男子総合 2位
 - 女子総合 5位(初入賞)
 - 全日本インカレ 男子800m 7位
- サッカー部
- 東海大学サッカーリーグ戦(前期)1部3勝6敗7位
 - 天皇杯全日本サッカー選手権 岐阜県代表決定戦準優勝
- 男子バレーボール部
- 東海大学バレーボールリーグ戦春季大会 1部6位
 - 岐阜県大学バレーボールリーグ戦春季大会 1部3位
 - 西日本インカレ 予選突破、2回戦
- 女子バレーボール部
- 東海大学バレーボールリーグ戦春季大会 3部リーグ 優勝(2部昇格)
 - 岐阜県大学バレーボールリーグ戦春季大会 1部リーグ3位
 - 西日本インカレ 予選突破、1回戦
- 女子ソフトボール部
- 岐阜県春季女子リーグ 1勝3敗
 - 東海大学ソフトボール春季リーグ 2部3位(4勝1敗)
 - センタージャパンリーグ 4勝2敗2分
- バドミントン部
- 東海大学バドミントン選手権大会(春季) 男子3部 2位(2部昇格)
 - 岐阜県学生春季バドミントン選手権大会 男子団体優勝、女子団体4位
- ソフトテニス部
- 男子シングルス優勝、男子ダブルス優勝
- 男子バスケットボール部
- 岐阜県学生ソフトテニス選手権大会 3位
 - 岐阜県学生バスケットボール選手権大会 1部リーグ3位
 - 女子バスケットボール部 1部リーグ4位
- 吹奏楽部
- 老人福祉施設での演奏

文化会

- マイスター倶楽部
- 大垣市内観光調査、県内市町村との連携事業計画等
- HIGEBU
- 老人福祉施設の「中川桜祭り」参加
- 吹奏楽部
- 老人福祉施設での演奏

内々定学生の報告

厳しい就職環境下、 学生の就職活動状況報告



伊佐川 晃史さん 郵便局株式会社

経済学部経済学科4年 宜野湾高校出身

私が就職活動をはじめたのは3年の2月からです。当時は就職なんてすぐ決まるだろうと考えていました。しかし、合同企業説明会に参加して、周りの人は就職活動に必死に取り組んでおり、自分ととても温度差を感じました。そして最初の就職試験を受けた時、何も対策していなかった私は一次試験で不合格となり、その時に真剣に就職活動に取り組まなければいけないと感じました。そこで

企業研究を始め、自分がやりたい事と照らし合わせながら考えていきました。そして、7月中旬に地元沖縄県の郵便局株式会社（渉外営業コース）から内々定をいただくことができました。地域の暮らしに携わる仕事がしたいと考えていた私にとって、とてもいい企業から内々定をもらう事が出来、嬉しく思っています。

就職活動は早くはじめて悪いものではありません。3年生の方は今から自分の将来について考えて就職活動に取り組んでほしいと思います。



塚崎 仁美さん 第一生命保険株式会社

経営学部情報メディア学科4年 磐田南高校出身

私は就職活動中が学生から社会人へと一番成長できる期間だと思います。「自分の強み」「自分らしさ」をとことん突き詰めることができる機会です。私にはこれがあります！

という強い意思を持つことが大事だと思います。

選考は同じ試験を受ける学生から良い点を学べるチャンスです。私は多くの選考を受けることで質疑応答や面接での受け答えなど、小さな事でも使えそうだと感じたら、必ずメモをして自分の力にしました。試験

で失敗した部分は、実力不足を確認できたのだと前向きに考えました。

選考が進まずに行き詰まった場合は悩んでやるよりは勢いに任せて動いたほうが得るものが多いこともあります。実際、友人やキャリア支援課の方々の助言は本当に役立ちます。不安や相談事は口にするとな案外アッサリと解決することもある。思わぬところで縁が繋がることもあるので、諦めずに多角的な視点で就職活動を続けてください。数を重ねただけ確実に力は身につきます。

4年次生は、3年次生の秋より本格的な就職活動を始め、6月より内々定が開始されました。内々定の時期は、東日本大震災の影響により1ヶ月遅れています。今年度の就職活動の特徴は、採用試験が全体的に遅れていること、及び7月以降も採用活動を継続する長期化の2点です。企業は、

採用予定数にとらわれず、採用基準を下げたまま採用しませんので、依然厳しい就職環境が続きます。現在、就職活動中の学生諸君は、「最後まで諦めない」「行動する」この2点をアドバイスします。就職活動、進路について悩みを抱えている学生は、キャリア支援課へご相談ください。

インターンシップを実施

3年次生は、8月から9月にかけて、インターンシップ生として企業の就業体験をします。今年度のインターンシップは、左記の企業・自治体にお世話になります。

2011年度インターンシップ実習先企業・自治体

- | | | |
|------------------|------------------|-------------|
| 岐阜労働局 | 大塚産業クリエイティブ(株) | パールマネキン |
| 防衛省 | (有)大橋量器 | (株)ヒマラヤ |
| 岐阜県庁 | 岐阜ヤナセ(株) | (株)フォーラムホテル |
| 大垣市役所 | (株)グッドウィル | 福井トヨベツト(株) |
| 東近江市役所 | ザテラスホテルズ(株) | フジヤ広告(株) |
| NPO法人F.C. Aima大垣 | サンメッセ(株) | プラスネット |
| NPO法人せきまちづくりNPO | (株)十六銀行 | (株)文溪堂 |
| ふうめらん | (株)住文 | (株)松源 |
| NPO法人はあと | 関ヶ原石材(株) | (株)美濃庄 |
| ふる美浜ネットワーク | (株)ダーワイコミュニケーション | (株)武芸川精工 |
| アワーズ(株) | 艶金化学繊維(株) | 名鉄観光サービス(株) |
| (株)岩田製作所 | 東海サーモ(株) | 名阪近鉄バス(株) |
| SMBIC日興証券(株) | (株)トヨタレンタリース岐阜 | 矢橋工業(株) |
| (株)大垣共立銀行 | 日本耐酸塩工業(株) | ヨツハシ(株) |
| 大垣信用金庫 | | |

上海財經大学、江西師範大学から3人の交換留学生を迎えました

2011年4月から、上海財經大学、江西師範大学より、3人の交換留学生を受入れました。1年間、本学で留学生活を送ります。

上海財經大学 ^{ハイケン} 馬逸群さん (経済学科)

○日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか。

私は、上海財經大学に入学してから、日本語を勉強し始め、一度日本に来てみたいと思っていました。中国でも経済を学んでいて、岐阜経済大学は、日本語も経済も勉強できる大学だと思い、岐阜経済大学に来ました。

○上海財經大学では、何を学んでいますか。

日本語の授業を多く学んでいて、経済と政治に関する知識も少し勉強しました。

○日本の印象、印象に残っていることは何ですか。

私は、実際に日本にきて、中国で想像していた日本と大体同じ印象を受けました。日本は景色がよく、人が優しい印象を受けました。私たちが今住んでいる寮の隣の方が家族で庭で焼肉をされていて、私たちを招待してくれたことがとても嬉しかったです。

○日本でやってみたいこと、岐阜経済大学で学ぶにあたって期待することは何ですか。

私は、書道が好きで、日本の文化を勉強したいと思っています。この前、垂井町で、子ども歌舞伎という祭を見ました。日本の文化を勉強し、日本人と友達になりたいと思っています。



上海財經大学 ^{キウテイ} 季雨婷さん (情報メディア学科)

○日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか。

私は、今回の岐阜経済大学に留学したのをきっかけに、自分で実際に日本を見たり、体で感じたりして、将来、日本の大学院に進学するか、上海で就職するかを決めたいと思い、岐阜経済大学に来ました。

○上海財經大学では、何を学んでいますか。

勉強はほとんどが日本語の授業で、会計や経済、金融も学んでいます。大学ではダンスチームにも所属していました。

○日本の印象、印象に残っていることは何ですか。

中国にいる日本の先生から、日本の文化や「日本人は優しい」と教えられてきました。実際、日本に来て、例えば私が買い物で困って

いる時に、日本の方はすぐに助けてくれました。また、電車や新幹線で日本は携帯電話をかけている人がいないことに驚きました。中国では電車で頻りに携帯電話をかけている人を見ます。日本人の“人に迷惑をかけない国民性”に感心しました。上海で知り合った日本の友達がいる、友達の出身地である福岡県を案内してくれ、お母さんや家族の方がとても優しく接してくれたことは嬉しかったです。

○日本でやってみたいこと、岐阜経済大学で学ぶにあたって期待することは何ですか。

私は旅行が好きで、日本の友達と旅行に行きたいと思っています。日本人と多く交流をもち、中国での行事や伝統を伝えたいと思っています。また日中の友好関係を保ちたいと思っています。



江西師範大学 ^{コウシンエイ} 黄振英さん (スポーツ経営学科)

○日本に留学しようと思ったきっかけは何ですか。

私が通う江西師範大学で学んでいた先生が、以前岐阜経済大学に留学していた丁勇さん(卒業生)であり、岐阜経済大学を勧められたこともあり、また以前から日本の文化を勉強したい、実際に目で日本を見たいという気持ちがあったので、岐阜経済大学に来ました。

○江西師範大学では、何を学んでいますか。

経済学部日本学科の国際ビジネスを学んでいます。

○日本の印象、印象に残っていることは何ですか。

私は、日本(大垣市)は、建物が全て一戸建だと思っていましたが、実際来てみると高い建物やビルもあつたりしてびっくりしました。日本に対しては、人が優しく、町も綺麗で、吸う空気が気持ちよく、とても良いところだと思いました。

○日本でやってみたいこと、岐阜経済大学で学ぶにあたって期待することは何ですか。

私は性格が明るく、人と接することが好きで、日本人ともっとコミュニケーションを取りたいと思っています。日本では、下宿をして、日本の生活を知り、日本の友達を作り、日本語を身につけたいと思っています。



スポーツ経営学科
4年
[至学館高校出身]
渡邊 真悟



教えることの 楽しさを再認識した 教育実習



私は、5月30日から6月17日までの3週間、犬山市内にある南部中学校で教育実習を行いました。犬山では、母校へ教育実習に行けない制度のため、母校以外での実施となります。初めて行く学校のため、当然期待が高まる方、緊張と不安が入り混じった気持ちで登校しました。しかし校門をくぐる、「おはようございます」という元気な声が聞こえてきました。初めて会ったにもかかわらず、多くの生徒があいさつをしてくれたのです。なんてあたたかい生徒たちなのだろう。私の緊張や不安は即座に消え、胸を張って校舎に入ることができました。私は2年生のクラスに入ることになりました。みんなとても元気が良く、笑顔が絶えないクラスでした。

私が住む犬山では、先進的な教育を目指し、全国からも注目を浴びています。私が中学校に在籍していたころ、なげなく受けていた授業も、こうして教師の立場に立つてみるとそれまで見えていなかったことがたくさん見えてきて、いろいろなことに気がつきました。一つは、先生によって授業の方法が異なることです。学校が掲げる目標を目指すことは同じなのですが、そこへ行きつく過程が異なるのです。だからと言って、教師がお互いの授業方法を否定するのではなく、高め合うことで、より良い授業づくりをしています。そのため私は、それぞれの授業の良い所工夫しなければいけない点を知ること、より多くのことを学ぶことができたと思います。二つめに、全ての先生に共通して言えることは、授業では元気がよく、凛とした姿勢で臨んでいたということです。「見られる」という立場の教師は、自分自身にやる気や活力がなければ、生徒は授業についてきけません。そのため、私の授業でも、胸を張り元気がよく行うことを心がけました。また、授業は教師が主体ではなく、生徒が主体であることに重きを置き、全てを教師が指示するのではなく、授業の中で生徒に任せられるところは委ね、生徒間で考えながら進めていく授業を作り上げていました。

いざ教育実習が始まると、それまで不安だったことも全て忘れ、ひたすら毎日を生懸命過ごしました。最初の1週間はとても長く感じましたが、2週目からは気がつけばもう週末がやってくるまで、3週目に至ってはもう最終日というくらい時間が過ぎるのが早かったです。これは過言でもなく、本当にそう感じました。最初は不慣れなことばかりで、大変な思いをしましたが、少しずつ慣れてくると楽しむ余裕ができて、学校で過ごす生活がとても充実したものとなりました。そのため、日が経つにつれ、時間の進みが早く感じたのだと思います。

私はこの教育実習で、教えることの楽しさを再認識しました。正直言えば、教師の努力が全て報われるわけではありません。むしろ、報われないことの方が多いと思います。しかし、その中にある数少ない、生徒の「ありがとう」という言葉や笑顔が教師の原動力になれていると感じました。



利用者さんから 学んだ最後まで 挑戦する気持ち

私は8月16日(火)から31日(水)まで、私の出身地である長崎県五島市の「障害者支援施設ほっとホーム富希」で実習を行いました。実習先には、2年次に3日間実習で訪問しているため、その時と比べて、利用者さんかどのように変化しているかなども今回の実習の課題等とし、実習に臨みました。

特に今回の実習では、2名の利用者さんに注目しました。この2名の利用者さんは、3日間実習でよく接し、作業等も一緒に行いました。初めは、利用者さんに声を掛けても違う場所へ行ったり、喋ってはかりで、作業をしてもえませんでした。しかし、3日間実習の最終日には、最後まで集中して作業をしている姿を見ることができました。また今回の実習では、初日から私の指示を聞いてもらうことができたり、前回来た時よりも難しい作業をしていました。実習中にいつも「○○したい」「や○○できたね」などと、嬉しそうに私に言うて来ました。時には、集中力が切れたりしてしまうこともありましたが、その時は、利用者さん自身、お茶を飲みに行ったり、少し歌を歌ったりして、作業を続けていました。今回の実習では、最後まで諦めず完成させる姿をたくさん見ることができました。それを見て、どんなに簡単な作業でも、利用者さんにとっては、すごく達成感があるんだと感じました。これは、2名の利用者さんだけに限らず、入所していた利用者さん全員にあてはまることでした。

私は、2週間の実習を通して、勉強部活ボランティア等成果が自分のものとなるよう、また大学を卒業した時に、「あれをやっていた良かった」と心から言えるよう、努力して頑張っていきたいと思いました。そして利用者さんのように何事にも最後まで諦めず、挑戦する気持ちで取り組んでいきたいと思えます。もちろん、卒業後も挑戦することを忘れず、また今までお世話になった方々に恩返しできるように、社会人になっても頑張りたいです。

臨床福祉コミュニティ学科
4年
[五島高校出身]
木戸 みずき



「愛」と「分かち合い」

— セツルメント思想への憧憬 —

セツルメントは、ソーシャルワークの源流であるとともに、大学の地域貢献活動の先駆けであったということもできるのです。



経済学部

梅木 真寿郎 講師

大林宗嗣とセツルメント、そして私

セツルメントとは、19世紀のイギリスで起こった社会改良運動であり、同じくイギリスの慈善組織化協会（COS）と並んで、ソーシャルワークの源流と考えられているものです。具体的には、産業革命後のロンドンのスラム街へ、オックスブリッジの学生たち（当時の上流階級でかつ国教会系の学生）が、スラム街に住みこみ、スラムの住民との人格的交流を通じて行った教育活動（当時の貧困層は教育を受ける機会が乏しかった）のことをいいます。このセツルメント思想（「愛と分かち合い」）の精神的支柱となったのが、アーノルド・トインビーであり、「産業革命」という言葉を広く社会に広めた人物でした。彼はオックスフォード大学に所属する経済学者であったわけですが、このことはソーシャルワークの萌芽が、経済学という学問に依拠していたことを意図します。そういう意味で、本学の経済学部の中に「社会福祉」が位置づけられています。次に、大林宗嗣氏ですが、戦

前に大阪にあった大原社会問題研究所の研究所員を経て、同志社大学教授となった人物で、セツルメントについて、日本で最初に体系的な研究をした研究者です。大林教授に関するエピソードは、紙面の都合上割愛いたしますが、私のここ最近の5、6年の研究は、概ねこのあたりの思想を歴史的に考察していくということを行ってきました。

最後に、これらの研究と現代社会の接点についてですが、セツルメントとは、「大学セツルメント」といわれるように、オックスブリッジの教員や学生が主体的に活動したものです。そういう意味では、セツルメントは、ソーシャルワークの源流であるとともに、大学の地域貢献活動の先駆けであったということもできるのです。イギリスで時かれた一粒の種は、現在では、本学も含め多くの大学に根付き、そして実りの時を迎えているのです。



PROFILE

1973年6月13日に生を受ける。鹿児島県出身。国立鹿児島高専情報工学科に進学するも、途半ばにして進路を変更し、社会福祉学を志すことになる。大学は、花園大学社会福祉学部に進学し、公的扶助研究の中川健太郎花園大学名誉教授に師事する。学部卒業後、京都市内の社会福祉法人洛南福祉会に就職し、高齢者分野の生活相談員として勤務する。ソーシャルワークの実践を通して、アセスメントの重要性を痛感し、2001年に龍谷大学大学院修士課程に進学し、ソーシャルワーク方法論で知られる太田義弘大阪府立大学名誉教授に師事する。さらに、ソーシャルワーク研究を進めるために、2003年には同志社大学大学院博士課程に進学し、ケースワーク研究の大家である岡本民夫同志社大学名誉教授の指導を受ける。岡本名誉教授の定年退職に伴い、キリスト教社会福祉思想に造詣の深い木原信活教授より、セツルメントに関する研究指導を受ける。以上のように、様々な先生方の御指導を賜る機会に恵まれた。2010年に岐阜経済大学経済学部にて専任講師として着任、現在に至る。所持資格は、社会福祉士および介護支援専門員。

趣味拝見

一風変わった趣味としては、一人で感動的映画（家族愛など）を視聴し、嗚咽しながら、大声を出して涙すること。少し古いですが、「アイ・アム・サム」や「世界の中心で愛を叫ぶ」、「タイヨウのうた」、「おくりびと」などなど。音楽は、学生時代は、「Mr.Children」。現在は、GReeeeNがお気に入りです。その他、最近は暇に乏しく、手が回りませんが、マンガも好物です。加えて、幼稚園から大学まで親しんでいた将棋と、社会人になってから、職場のサークルで覚えた硬式テニスは、機会があれば、やりたいと思っています。4月より、ソフトテニス部の部長となりましたので、メタボ対策に運動を始めたいです。テニスに興味のある方は、学生のみならず、教職員の方々も是非、ご一緒しましょう！

スポーツは、人と人をつなぎ、人と地域をつなぐものですから！

社会福祉法人壘城会友和苑で 吹奏学部が演奏しました。

6月4日(土)、大垣市内の、社会福祉法人壘城会友和苑での家族交流会にて、吹奏学部が演奏しました。本学のボランティアサークルHIGE☆BUの学生が親しかった友和苑の方から、「友和苑家族交流会」に向けて、大学に出演して欲しいとの依頼があり、吹奏楽部をお願いしたものです。今年初めての試みであり、新メンバーを含めた7名で、ハンドベル・歌・管楽器と多彩に楽器を使い、「ふるさと」「カントリーロード」など4曲を披露しました。演奏が始まると、一緒に口ずさんで下さる方もみえ、最後には「とても上手な演奏を聞かせて頂いて本当にありがとう」と感想を頂き、大変好評でした。



陸上競技部 久我アレキサンデルさんが 大垣市民大賞を受賞しました。

本学陸上競技部の久我アレキサンデルさん(スポーツ経営学科4年 淡路三原高校出身)が、2010年6月18日(金)~20日(日)神奈川県平塚市総合公園平塚競技場で開催されました「2010日本学生陸上競技個人選手権大会」における男子800mでの3位の成績が認められ、第8回大垣市民大賞(体育の分野)を受賞しました。

授賞式は、6月4日(土)大垣市サイトピアセンターで行われ、受賞した個人21名、7団体に小川敏大垣市長から奨励状及び記念の楯が贈られました。久我さんは、受賞者を代表し、「このような賞をいただき、非常に嬉しく思います。今後ともこの賞を受賞できたことを励みに更なる成果をあげられるよう、努力していきます」と挨拶しました。

大垣市民大賞授賞式



授賞式で挨拶する久我さん

全国高校生ポスターコンクールの 表彰式が行われました。

8月18日(木)、大垣市サイトピアセンターにて、第10回全国高校生ポスターコンクールの入賞者の表彰式が開催されました。本学から、谷江幸雄学長、浅野照章副理事長が出席しました。今回は「むすび」をテーマに、全国52校から約1,200点の応募があり、248点が、入賞・入選しました。本学は、岐阜経済大学学長賞を開設しており、岐阜県立大垣商業高校3年の山田百香さんが受賞されました。表彰式では、大迫輝通日本国際ポスター美術館館長から表彰状などが送られました。

入賞、入選した作品は、サイトピアセンターで8月18日(木)~24日(水)にかけて展示されました。



挨拶する谷江学長

救命救急講習会を開催しました。

6月15日(水)、学生を対象とする救命救急講習会を開催しました。硬式野球部をはじめ、各クラブの1年次生を中心に、約120名が参加。授業やクラブ活動等で、不測の事態の際に、適切な処置が行えるよう、大垣北消防署員の方の指導を受け、心肺蘇生法の手順やAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びました。

学生達は、最初に、救急車が通報を受け到着に要する平均時間などの説明を受けた後、4つのグループに分かれ、交替でダミー人形を用い、人工呼吸、心臓マッサージなどの心肺蘇生法やAEDの操作を体験しました。

講習を受講した吉田純也さん(スポーツ経営学科1年 愛知啓成高校出身)は、「AEDの使い方は今回の講習で覚えることができたと思う。手順の中では電極パッドの装着が難しかった」と感想を述べました。



経済学部フレッシュマン・エクスカージョン、経営学部フレッシュマン・セミナーを実施しました。

経営学部は、5月25日(水) 本学講堂において、1年次生を対象とした「フレッシュマン・セミナー」を開催しました。

講師に大谷由里子さん(元吉本興業マネージャー)を迎え、テーマは大谷さんの著書でもある「吉本興業女マネージャー奮戦記『そんなアホな!』」、大谷さんが吉本興業で学んだ戦略と戦術を考えることの重要性について語られ、また自分を信じることの大切さを強調されました。続いて、コーチングについて自論を展開され、行動心理学により、人間は支配型、分析型など4つのタイプに分かれること、それぞれのタイプの特徴、コミュニケーションの取り方など、興味深く分かりやすい説明に、学生達も聞き入っていました。

経済学部は、6月1日(水)「フレッシュマン・エクスカージョン」をアクア・トトぎふ(各務原市 河川環境楽園内)で実施しました。目的は、揖斐川・長良川の豊かな河川環境などから、本学が位置する岐阜県の地域特性を学ぶことです。

アクア・トトぎふ到着後、展示飼育部体験学習チームの園戸係長から、「西濃地域の淡水魚について」をテーマに、上流、中流、下流の代表的な魚の生態など、高木営業課長からは、アクア・トトぎふ設立の経緯や現在の取組などについて詳細な説明がありました。

その後、学生達は、館内の水槽展示を見学し、岐阜県にいか

多くの希少な水生生物が生息しているか、また一方で、その貴重な生物がどれ程の危機にに至っているかなどを学びました。

これらを機会に、大学で出会った新たな友人達と円滑な学生生活への一歩とし、教員との交流も深まりました。



県内大学・短大合同就職説明会を開催しました。

6月16日(木)に日本商工会議所の支援事業として「県内大学・短大合同就職説明会」を大垣市のソフトピアジャパンで開催しました。

今年度で3回目を数える当説明会は、初めて学外での開催となり、新規採用に意欲的な企業43社と県内大学・短大のみならず愛知県などからも含め約280名の学生の参加がありました。会場は、企業担当者の説明を熱心に聞き入っている学生で溢れていました。



(2)消費収支計算書

「消費収支計算書」は資金の移動を伴わないもの(現金の出入りの他に消費していくもの)として、減価償却額や退職給与引当金繰入額などを計上し、当該会計年度の消費収入及び消費支出の均衡状態を表したものです。学校法人の経営状況を示すもので企業会計の「損益計算書」に当たるものです。消費収支計算書については、収支科目の多くが資金収支計算書の収支科目と共通していますので、消費収支固有の内容について主なものを説明します。

①収入の部

消費収入の部では「学生生徒等納付金」から「雑収入」までを帰属収入とします。帰属収入は学校法人の負債(返済義務のない収入)とならない収入のことです。従って資金収支計算書の収入から資金の動きだけを示す「前受金収入」、「その他の収入」、「資金収入調整勘定」等は除かれます。

〔寄付金〕

一般寄付金の他に団体、個人から寄贈された図書393冊、123万円を現物寄付金として計上しました。

〔資産売却差額〕

教職員宿舍敷地の売却により、取得価格と売却価格の差額2,374万円を計上しました。

〔基本金組入額合計〕

教育研究の維持・充実に必要な資産(校地、校舎、機器備品、図書等)を継続的に保持するために、帰属収入から組入れた(控除した)金額です。今年度は第2情報実習室パソコン及びサーバの機器更新、図書購入、課外活動用自動車購入額から教職員宿舍敷地売却、機器備品、図書、自動車の処分額を控除し、246万円を基本金へ組入れました。

②支出の部

消費支出の部では、施設の建設費や機器備品・図書等の資本的支出に充当する額(基本金組入額)を控除し計上します。従って資金収支計算書の支出科目から「施設関係支出」、「設備関係支出」、「その他の支出」等を

除きますが、消費支出として「教育研究経費」及び「管理経費」には各々減価償却額を加算しています。減価償却額は建物、機器備品などの固定資産の当期償却額を計上しています。

〔資産処分差額〕

有価証券の時価変動に伴う評価損額、資産(教育研究用機器備品、車輛、図書等)の除却処分差額を計上しました。

消費収支計算書 平成22年4月1日～平成23年3月31日まで

科 目	平成22年度	平成21年度	前年度比
消費収入の部			
学生生徒等納付金	1,266,157	1,319,863	△ 53,706
手数料	24,912	24,195	717
寄付金	15,051	19,495	△ 4,444
補助金	217,567	208,137	9,430
資産運用収入	101,687	122,976	△ 21,289
資産売却差額	23,742	0	23,742
事業収入	39,581	44,190	△ 4,609
雑収入	120,579	67,420	53,159
帰属収入合計	1,809,281	1,806,278	3,003
基本金組入額合計	△ 2,469	△ 1,003	△ 1,466
消費収入の部合計	1,806,811	1,805,275	1,536
消費支出の部			
人件費	1,141,442	1,109,290	32,152
教育研究経費	828,978	782,203	46,775
(内減価償却額)	211,324	225,392	△ 14,068
管理経費	202,888	238,797	△ 35,909
(内減価償却額)	35,083	25,554	9,529
資産処分差額	183,512	3,499	180,013
消費支出の部合計	2,356,821	2,133,791	223,030
当年度消費支出超過額	550,009	328,516	△ 221,493
前年度繰越消費収入超過額	2,355,820	2,684,336	△ 328,516
翌年度繰越消費収入超過額	1,805,810	2,355,820	△ 550,009

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。(単位千円)

〔資産運用支出〕

満期償還等を迎えた有価証券の買い替え4億円、教職員宿舍敷地売却額2,600万円を施設拡充引当特定資産として積立金に繰入れました。

資金収支計算書 平成22年4月1日～平成23年3月31日まで

科 目	平成22年度	平成21年度	前年度比
収入の部			
学生生徒等納付金収入	1,266,157	1,319,863	△ 53,706
手数料収入	24,912	24,195	717
寄付金収入	13,813	16,350	△ 2,537
補助金収入	217,567	208,137	9,430
資産運用収入	101,687	122,976	△ 21,289
資産売却収入	421,800	0	421,800
事業収入	39,581	44,190	△ 4,609
雑収入	120,509	67,420	53,089
前受金収入	268,470	258,450	10,020
その他の収入	178,132	261,967	△ 83,835
資金収入調整勘定	△ 382,189	△ 370,397	△ 11,792
当年度収入の部小計	2,270,443	1,953,153	317,290
前年度繰越支払資金	2,535,618	2,550,420	△ 14,802
収入の部合計	4,806,061	4,503,573	302,488
支出の部			
人件費支出	1,159,582	1,129,223	30,359
教育研究経費支出	617,443	557,149	60,294
管理経費支出	167,490	213,562	△ 46,072
施設関係支出	0	17,670	△ 17,670
設備関係支出	20,554	29,901	△ 9,347
資産運用支出	426,213	0	426,213
その他の支出	49,639	52,931	△ 3,292
資金支出調整勘定	△ 33,708	△ 32,483	△ 1,225
当年度支出の部小計	2,407,215	1,967,955	439,260
次年度繰越支払資金	2,398,846	2,535,618	△ 136,772
支出の部合計	4,806,061	4,503,573	302,488

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。(単位千円)

(3)貸借対照表

「貸借対照表」は年度末3月31日における資産、負債及び基本金等の状況を表したものです。

資産の部の合計は、145億1,891万円となり、前年度末に比べて5億1,093万円減(3.4%減)、負債の部の合計は、10億1,576万円となり、前年度末に比べて3,660万円減(3.7%減)、基本金の部は、116億9,733万円となり、前年度末に比べて246万円の増加となりました。この結果、資産の総額から負債の総額を差し引いた「正味財産」は135億314万円となり、前年度比5億4,753万円(3.9%減)の減少となりました。

貸借対照表 平成23年3月31日

科 目	本年度末	前年度末	増 減
資産の部			
固定資産	11,996,008	12,395,909	△ 399,901
有形固定資産	6,304,732	6,533,966	△ 229,234
その他の固定資産	5,691,275	5,861,942	△ 170,667
流動資産	2,522,904	2,633,940	△ 111,036
資産の部合計	14,518,912	15,029,849	△ 510,937
負債の部			
固定負債	653,078	671,219	△ 18,140
流動負債	362,685	307,942	54,743
負債の部合計	1,015,764	979,161	36,602
基本金の部			
第1号基本金	11,495,337	11,492,867	2,469
第2号基本金	0	0	0
第4号基本金	202,000	202,000	0
基本金の部合計	11,697,337	11,694,867	2,469
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費収入超過額	1,805,810	2,355,820	△ 550,009
消費収支差額の部合計	1,805,810	2,355,820	△ 550,009
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	14,518,912	15,029,849	△ 510,937

※上記の表の金額は千円未満を切り捨てている為、合計など金額が一致しない場合があります。(単位千円)

平成22年度決算報告

●事業の概要

本学は、地域に有為な人材を養成するという建学の精神を基本とした、本学の中長期指針「岐阜経済大学50周年ビジョン」に基づき、戦略的課題実現のための「アクション・プラン2009—2012」の目標達成に向け、取り組まれました。平成22年度における事業の概要は以下の通りです。

(1) アクション・プラン事業

アクション・プランは7分野(学生教育、学生支援、教員研究、地域連携、学募広報、魅力ある学部学科体制、運営体制)90項目から構成されています。

平成22年度、特に重点とした事項が、「魅力ある学部学科体制」づくりです。志願者・入学者が低迷する「臨床福祉コミュニティ学科」を、受験生や社会のニーズ、及び本学の現有資源等を総合的に検討した結果、「公共政策学科」を構想するに至り、平成24年度に開設することとしました。また、他の学科においてもカリキュラムを充実する等の強化策を講じました。

また、就職氷河期の再来といわれる今日、本学は、1年次から正課授業に「キャリア形成」を開講、各種就職支援セミナーの開催、資格講座の開講、インターンシップの強化、また文部科学省選定事業である「大学教育・学生支援推進事業—就活サークルと学生・OBメンター育成によるキャリア教育の充実—」を実施し、卒業生や内定学生による後輩指導が好循環を生んでいます。こうした取り組みにより、今春卒業生の就職率は92.9%を確保しました。

(2) 主な教育事業

・文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム(2年目)の実施(就活サークルと学生・OBメンター育成によるキャリア教育の充実)

- ・教育の国際化事業(上海财经大学・江西師範大学交換留学生の受入、海外語学研修派遣)
- ・奨学金事業(経済支援、資格取得・スポーツ優秀者等への奨学金給付)
- ・学生の質向上事業(ゼミナール大会、漢字・パソコン等検定の必修化)
- ・教職課程支援の充実(教員採用試験対策の実施)
- ・強化、準強化指定クラブ助成事業(硬式野球部・陸上競技部・ボート部・サッカー部・男子バレーボール部・女子ソフトボール部・女子バレーボール部への活動助成費)
- ・キャリア形成講義、就職支援事業(資格取得15講座・学内企業セミナー・インターンシップの実施)

(3) 研究・産官学連携活動

- ・受託、共同研究事業(受託事業10件実施、うち1件はプロポーザル審査による採択)
- ・産官学連携事業
大学のまちなか共同研究室であるマイスター倶楽部では、地元大垣市の中心市街地商店街が行う「元気ハツラツ市」に参加し、賑わい創出の一翼を担いました。また、ソフトピア共同研究室では在宅支援システムの開発をはじめ、岐阜県立大垣商業高等学校、(株)デリカサイトとの連携により教育課程研究指定校事業の支援を行いました。
- ・講師派遣、共催事業(小中高等学校等への出前講座、公開講演会の実施、大垣市との「コミュニティカレッジ」開催)

(4) キャンパス整備事業

- ・第2情報実習室パソコン及びサーバの機器更新
- ・課外活動施設設備の整備(陸上競技場舗装路、屋内練習場の補修)

●財務の概要

資金収支計算書では、次年度への繰越支払資金は23億9,884万円となり、前年度より1億3,677万円減少しています。

消費収支計算書では、帰属収入合計額から基本金組入額と消費支出合計額を差し引いた単年度の消費収支差額は5億5,000万円の支出超過となり、累積では翌年度への繰越消費収入超過額は18億581万円となりました。

(1) 資金収支計算書

「資金収支計算書」は、当該会計年度(4月1日～翌年3月31日)の諸活動に対応するすべての資金(現金の出入り)の動きを表したものです。資金収支の内容について、主な科目を説明します。

①収入の部

[学生生徒等納付金収入]

授業料、入学金、実習料、施設設備資金等の収入です。授業料納付学生数は1,355名、前年度比5,370万円の減少となりました。

[寄付金収入]

一般寄付金としてボート部寄付金581万円、親和会からのスクールバス運行費助成金600万円、財団法人からの外国人留学生奨学金200万円を受け入れました。

[補助金収入]

国庫補助金、地方公共団体補助金の収入です。国庫補助金は2億1,101万円、地方公共団体補助金は、岐阜県からの進路選択学生等支援事業、大垣市からの中心市街地協働型まちづくり事業費合せて655万円を受け入れました。

[資産運用収入]

定期預金等の受取利息収入9,375万円、本学施設設備の貸出利用料収入792万円です。

[資産売却収入]

教職員宿舍敷地の売却及び有価証券の満期償還等に伴う売却額4億2,180万円です。

[事業収入]

大垣市等自治体からの委託事業10件の受託事業収入2,984万円、その他、公開講座受講料等収入974万円です。

[その他の収入]

退職給与引当特定資産2,000万円の取崩し及び前年度退職者の退職資金交付額及び前年度受託事業費の未収入金9,751万円が主な内容です。

②支出の部

[人件費支出]

専任教職員等の給与及び退職者への退職金支出等です。退職者は教員6名、事務職員3名、役員1名の10名となり、前年度比3,035万円増加しました。なお、人件費支出には、受託事業の業務請負額1,534万円を計上しています。

[教育研究経費支出]

学生への奨学事業(学費減免、私費留学生奨学金等)、語学留学助成事業、課外活動助成事業(強化・準強化指定クラブ合宿費、遠征費等)、陸上競技場修繕費、校舎保険料などが主な支出で6億1,744万円となりました。

[管理経費支出]

広告費、高校巡回等の学生募集経費が主な支出で1億6,749万円となりました。

[設備関係支出]

教育研究用図書、教育用機器備品(パソコン51台、サーバ機器)の更新、強化指定クラブ使用備品(棒高跳用マット、指導用モーターボート、ピッチングマシン等)の購入が主な支出で2,055万円となりました。

岐阜経済大学親和会総会・ 父母懇談会を開催しました。



谷江学長の挨拶(本学)

その後、就職活動について前出祐希さん(スポーツ経営学科4年 東海学園高校出身)、学生生活について平光加奈さん(スポーツ経営学科4年 至学館高校出身)、就職課程受講について小野田真也さん(スポーツ経営学科3年 宇治山田商業高校出身)の3名が各種報告を行いました。平光さんは、

その後、就職活動について前出祐希さん(スポーツ経営学科4年 東海学園高校出身)、学生生活について平光加奈さん(スポーツ経営学科4年 至学館高校出身)、就職課程受講について小野田真也さん(スポーツ経営学科3年 宇治山田商業高校出身)の3名が各種報告を行いました。平光さんは、

その後、就職活動について前出祐希さん(スポーツ経営学科4年 東海学園高校出身)、学生生活について平光加奈さん(スポーツ経営学科4年 至学館高校出身)、就職課程受講について小野田真也さん(スポーツ経営学科3年 宇治山田商業高校出身)の3名が各種報告を行いました。平光さんは、

学場 本会

去る6月18日(土)、2011年度親和会総会を開催しました。佐藤雄一親和会長、谷江幸雄学長、浅野照章副理事長の挨拶の後、議事に入り、土井田直也新会長の選出や2011年度事業計画・予算案など全ての議案が承認されました。

硬式野球部のマネージャーをして学んだ体験に基づいて報告しました。

全体懇談後、個別懇談へと移り、単位取得状況や出席状況をはじめ就職活動や日常生活に関するご質問などに担当職員が答えました。

地方 会場

今年度は、沖縄県那覇市「ホテルJALシティ那覇」及び富山県富山市「パレブロン高志会館」の2会場において開催し、計82名の方に参加いただきました。

沖縄会場では、本学客員教授でもある鎌田實氏の講演会が特別に行われ、「新しい人生を切り開くために、何をどうして、誰に学ぶべきか」という内容を、父母の方々は皆、熱心に聴講されました。今後本会を大学とご父母の皆様、ご父母の皆様同士の「コミュニケーションの場」として積極的に活用していただきたいと思えます。来年度も是非、多数の参加をお待ちしております。



法人役員・評議員の一部改選が行われました。

5月26日(木)開催の学校法人岐阜経済大学理事会並びに評議員会において役員の一部改選が行われました。地元政財界の強力な支援のもと、本学の経営陣が構成されています。

理事長	土屋 峻	(株)大垣共立銀行 取締役頭取
副理事長	浅野 照章	(常勤)
理事・評議員	説田 泰朗	(非常勤)
	湖上 俊則	岐阜県副知事
	小川 敏	大垣市長
	石川 まさと	大垣市議会議長
	田口 義嘉壽	セイノーホールディングス(株) 代表取締役会長
	岩田 義文	イビデン(株) 代表取締役会長
	小川 信也	太平洋工業(株) 代表取締役社長
	堤 俊彦	日本耐酸塩工業(株) 代表取締役社長
	河合 進一	河合石灰工業(株) 代表取締役社長
	堀 富士夫	(株)デリカサイト 代表取締役副社長
	岩井 豊太郎	岐阜県議会議員
	谷江 幸雄	岐阜経済大学学長
	木村 隆之	岐阜経済大学経営学部長
	野松 敏雄	岐阜経済大学経営学部長
	石原 健一	岐阜経済大学経済学部教授
	中村 共一	岐阜経済大学経済学部教授
	松井 典子	岐阜経済大学事務局長
評議員	浅野 圭一	東海サーモ(株) 代表取締役社長
	一柳 正義	スイトラベル(株) 代表取締役社長
	井上 豊秋	揖斐川工業(株) 代表取締役社長
	今川 喜章	(株)丸順 代表取締役社長
	岩崎 洋三	岐阜経済大学客員教授
	小川 貴久	太平洋精工(株) 代表取締役社長
	金森 勤	(株)大光 名誉会長
	河合 伸泰	河合石灰工業(株) 取締役副社長
	額 多加志	大垣病院副院長
	田中 良幸	サンメッセ(株) 代表取締役会長
	西脇 史雄	大垣信用金庫理事長
	平林 佳郎	イビデン(株) 取締役専務執行役員
	三輪 高史	グレートフロンティア(株) 代表取締役社長
	山田 雄司	(株)大垣共立銀行 顧問
	浅井 清貴	画家・現代美術造形作家
	武藤 鉄弘	岐阜県さく清流園体 推進局長
	安田 益次	西濃ビル管理(株) 代表取締役
	安田 良邦	神戸町議会議員
	宮川 祐志	岐阜経済大学総務課長
	安田 天	岐阜経済大学企画広報課長
	上谷 月子	岐阜経済大学財務課長
	安村 千春	岐阜経済大学教務課長
監事	矢橋 慎哉	矢橋工業(株) 代表取締役社長
	内田 一之	大垣市教育長

岐阜経済大学校友会 40周年記念式典・ トークショーを 開催します。

岐阜経済大学には、卒業生が加入する「校友会」という団体があります。「校友会」が創設40周年を迎えるにあたって、記念式典ならびに記念トークショーを左記のとおり開催します。記念トークショーは、岐阜経済大学卒業生「校友」に限らず、どなたでも参加できます。当日は、本学大学祭「岐経祭」の最終日ともなります。多くの皆様の参加をお待ちしております。

●日時/2011年11月20日(日) ●会場/岐阜経済大学

【プログラム内容】

- 総会、記念式典(校友に限ります) …… 10:00~11:00
- 記念トークショー …… 11:30~13:00

講師

NHK大河ドラマ「江〜姫たちの戦国〜」脚本家
田淵 久美子氏

演題

お江と篤姫 ~戦国と幕末を生き抜いた女たち~